

いまだ放射能はもれている
福島原発事故は終わっていない
子どもは大丈夫なのか
何も気にせず暮らしてよいのか
関西ならば安全なのか
内部被ばくに距離は関係ない
子どもを守れるのは
大人だけではないか
苦しんでいる子どもを見る前に
やるべきことがある

「内部被ばくを生き抜く」連続上映 茨木キャラバン

茨木各地の公民館・コミュニティセンターで上映会を開催します。

あなたの周りにも放射能を心配している人はいるはず。

お近くの上映会に参加し、まずは皆で想いを共有しませんか。

- 8月23日（木） 春日丘公民館 下穂積三丁目5-5
上映10：00～
- 8月30日（木） コープ自然派ピュア大阪 事務所 島1丁目12-37
上映時間18：30～
- 9月 4日（火） 中条公民館 下中条町3-27
上映1回目10：00～ 2回目14：00～
- 9月13日（木） 大池公民館 舟木町11-35
上映1回目10：00～ 2回目19：00～
- 9月27日（木） 玉島公民館 平田2丁目25-9
上映1回目10：00～ 2回目13：00～
- 10月 2日（火） 畑田コミュセン 会議室1 畑田町3-6
上映1回目10：00～ 2回目13：00～
- 10月10日（水） 水尾コミュセン 多目的室 水尾2丁目9-15
上映10：00～
- 10月31日（水） 三島コミュセン 西河原2丁目7-12
上映1回目10：00～ 2回目15：00～

*上映後に1時間ほどの意見交換会を行います。（聞くだけでもOK）



日差しが強ければ自分が壁になり子どもを守る。
そんな自然な感覚で放射能から守らなければ。
そんな世界になつてしまったのだから。



入場料 600円
小学生以下無料

【 映画フライヤーより 】

「内部被ばく」に関しては、低線量の放射線は安全である、に始まって、どんな微量でも身体の中に入った放射性物質は危険である、まで異説、異論がこの世界には存在する。それはまさしくグラデーションのような世界に見える。放射能汚染もまた、まだらなグラデーションを地上に描いている。私は放射能汚染を受けた現場で生きる世界中の人々の取材を通して、データにはならないが、現場には確実に被害を受け苦しんでいる人々がいる事を身をもって体験した。

そんな現場で実際に被ばくに関する医療活動を継続してきた4人の医師にこれからどう対処していけばいいのか、問いかけることにした。

年齢も経歴も違う4人の医師がこれまで内部被ばくに関して積み重ねてきた体験や研究は重なるところもあれば重ならないところもある。内部被ばくの影響は複雑で未知の部分も多い。それでも、この4人の医師の声に耳を傾けることで情報が混乱する中でも、自分にとっての立ち位置を見定めていただきたい。福島・二本松に生き続けることを決めた一家も登場する。現場の声を聞くことをまず一番に大事にしたいと思ったからだ。暮らし、家族、地域、など生身の人間の未来を配慮することなしに被ばくは語れない。どうやったらこの「内部被ばくの時代」を私たちは生き抜くことができるか、最前線で格闘する人々の声に耳を傾けた。

茨木上映キャラバン 8か所の公民館等で上映決定



スモルニコワ・
バレンチナ

小児科医

チエルノブイリで

臨床医四十五年

児玉龍彦

東京大学アイソトープ総合センター長

福島で現場で動き

発信する医師

鎌田實

諏訪中央病院名誉院長

チェルノブイリ連帯基金代表

日本イラク医療支援ネットワーク代表

白血病や

がんの子ども達のために

働き続ける医師

肥田舜太郎

被爆医師

内部被ばくに

警鐘を鳴らして六十六年

肥田医師 撮影：矢野 祐

まもりたい！ 未来のために

4人の医師が語る経験・広島ーチェルノブイリーイラクー福島



鎌仲ひとみ監督作品

内部被ばくを生き抜く

監督：鎌仲ひとみ プロデューサー：小泉修吉 助監督：澤口佳代 撮影：岩田まき子 編集：青木 亮 音楽：Shing02 2012 / カラー / デジタル / Hivision : 80分 + 特典映像 : 64分 

製作・発売・配給：環境テレビトラスト

茨木キャラバン実行委員会 問合せ先
関西よつ葉連絡会淀川産地直送センター 072-650-3211 、生活協同組合コープ自然派ピュア大阪 090-3051-4458
有機野菜の八百屋 おおぞら 072-633-2341 、新鮮・こだわり野菜屋「南来屋」 072-628-5768
NPO地球とともに 代表武藤北斗 090-1103-1672